

第25号

發行
北九州地区
信徒使徒職協議会
会長 濱 鶴松
編集
北九州信徒協広報部
担当司祭 山元 眞
担当委員 岩本光弘

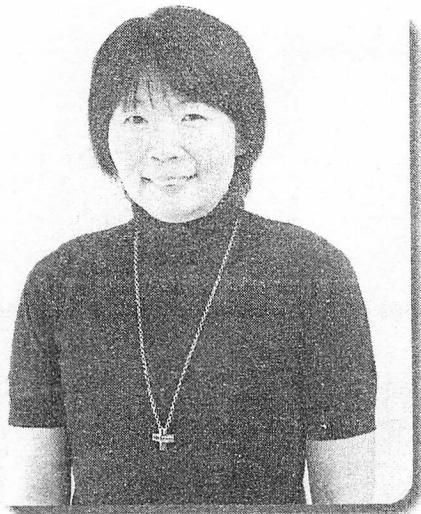
カトリック
北九州地区
信徒協だよい

主な内容

- | | |
|----|-------------------|
| 1面 | 大10回平和の集い |
| 2面 | 北九州地区的司祭担当 |
| 3面 | English Column |
| 4面 | 『Q & A』 |
| | 司祭紹介 |
| 5面 | 教会の正義とは
AOS研修会 |
| 6面 | ニュースあれこれ
編集後記 |

いまわたしたちにできること、築こう平和を 足元から

メインの話し手
Sr. 山本紀久代(やまもときくよ)



「ひとこと」

廣島での生活も9年目に入りました。廣島教区は「平和の使徒となる」という、動かし難いテーマをいただいている教区。心の平和、人間関係における平和、社会の中での平和、対立や争いを経て生まれる平和、どれをとっても一筋縄ではいきませんが、教会の人々と共に、また廣島の人々と共に、世界平和記念聖堂という祈りの空間に助けられます。

【プロフィール】

1997年より2002年まで広島教区で青年司牧にあたる。

その後米国シカゴ、東京、名古屋での体験を経て、2008年より広島教区平和の使徒推進本部専任スタッフとなり、現在に至る。

広島教区がその固有の召命として大切にしている「平和の使徒となろう」というテーマを「平和、きょうどう、養成」の三つの角度から推進していく「平和の使徒推進本部」でフルタイムとして働いている。

また、個人的には祈りの思い、平和への思いを歌にし、演奏する活動を続けています。今回のNPTに向けてのYes！キャンペーンでは、自作の「Yes！^{あした}核のない未来に！」がキャンペーンソングとなつた。

神奈川県藤沢市出身。援助修道会会員。

今年で10年目を迎える北九州平和の集いが8月に開かれます。日本では沖縄普天間米軍基地問題をかかえ、世界では五月に開催された核不拡散条約（NPT）が注目されました。日本カトリック司教団は「平和への努力は時のしるし」と位置付け、私たちに具体的な行動を呼び掛けられています。これに応えるために、個人で、グループで、小教区で身近にできる平和への取組を始めましょう。

第10回 北九州平和の集い近づく

〈実行委員会より〉

一昨年より北九州平和の集いは、第一部を14教会すべてで平和祈願ミサを行い、第二部を小倉教会で開催しています。今年のテーマは「いまわたしたちにできること、築こう平和を足元から」とし、献金は「世界各地の地震被災地（ハイチ・チリ・中国）へ、カリタスジャパンを通じて送金致します。ご協力下さい。

第二部では、教会学校やCYG、二つの小教区と二つの平和活動グループのみなさんが、足元からの平和の取り組みを発表していただく予定です。そしてシスター山本紀久代さんのお話しです。交流タイムとして休憩時間をたっぷり取っていますので、安心してご参加下さい。子どもたちもぜひ参加して下さい。子ども広場を設けています。北九州地区で活動する様々な使徒職グループも出店します。

昼食にカレーも用意してあります。（150食）集いの終りに平和祈願を全員で行い、明日から平和への活力にしていきたいと思います。誘い合つて小倉教会にお出で下さい。

① 小教区の担当

・ 飯塚	堤神父
・ 戸畠	中村神父
・ 黒崎	ブルー二神父
・ 天神町	ブルー二神父
・ 新田原	杉原神父
・ 田川	寺浜神父
・ 直方	寺浜神父
・ 水巻	井手神父
・ 行橋	竹森神父
・ 若松	深堀神父
・ 小倉	ベリオングループ
・ 黙想の家	鶴野神父
・ 小倉協力	山元神父
・ 司祭紹介欄	ピーターチャン
・ 染野神父	(司祭紹介欄を参照してください)
・ 内山神父	Br.元田

② 2010年度担当司祭

・ 地区長	山元神父
・ 典礼	杉原神父
・ 青少年	寺浜神父／染野神父
・ 教会学校	井手神父／竹森神父
・ シレグ(CYG)	中村神父
・ 社会宣教司牧	中村神父
・ 召命部会	井手神父
・ 信徒協	山元神父
・ 聖書	ベリオングループ
・ 教誨師	寺浜神父
・ 納骨堂	山元神父
・ 外国人担当	ブルー二神父
・ 殉教者	深堀神父
・ 広報担当	山元神父

今年の春は北九州地区の司祭の移動がありました。また、4月19日に司祭の集まりがあり地区内での担当も決まりました。教区報でも報告してきましたが、改めて皆さんにお知らせします。

北九州地区の司祭の担当

* 各担当者を中心に全司祭の
協力の元に行う。

北九州地区 親睦レクレーション大会

とき 9月23日(木)
ところ 新田原グランド

雨天などで中止の場合は小教区担当者に
早めに連絡致します。

担当 親睦レク実行委員会
(小倉教会 北川卓也)

(カトリック新教会法典208条)

すべてのキリスト信者は、キリストにおける新生のゆえに、尊厳性においても行為においても真に平等であるから、みな、それぞれ固有の立場と任務に応じて、キリストの体の建設に協働する。

福岡教区75周年資料集 申し込み受付ます。

教区内ほとんどの小教区・修道会の歴史等が記され、オールカラーで印刷されています。

A4, 210ページ

7月末日までにお申し込み戴いた方には

1冊(税込)3,900円 実価6500円～します。

申し込みは各教会の信徒協担当者まで

フィリピン人協会を作ります

北九州地域に住んでいるフィリピン人のための団体を作るために活動を始めています。すでに各地では結成され活動が始まっています。北九州地域でも参加者を募り、活動ができるようにしたいと思います。たくさんの方の参加をお願いします。

この団体が作られたら、その最初の活動として、パスポートの切り替えのための臨時パスポートセンターを北九州で開いてもらえるように、大阪のフィリピン領事館にお願いをしたいと考えています。そのほかにも、同じ国の人同士が、お互いが助け合うことができる会にしたいと思います。とにかく、たくさんの人数が集まらないと活動ができません。近くに居る友人にも声を掛けてください。一日も早く協会を作りましょう。

Philippine Association in Kitakyushu

Calling all Filipinos residing in Kitakyushu area who need to renew or amend their passports. We already have started to organize this Filipino group in Kitakyushu. As of now there are only 50 applicants.

If our organization can gather 100 or more applicants, we can ask the Philippine Consulate in Osaka for an outreach program wherein they could facilitate our passport applications here in Kitakyushu. If we can't gather the needed number of applicants, the program will not go on. Your full cooperation is

highly needed. Please inform your families, friends or acquaintances about this proposed Philippine passport program.

**For more information, please contact 093-561-1203/080-3998-6323
(KITAKYUSHU MULTICULTURAL CENTER)**

毎月英語のミサがあります

北九州地区での英語ミサは黒崎と小倉と行橋で行われることになりました。

- ・黒崎教会の英語ミサ 毎月第二日曜日 午後三時より
- ・小倉と行橋は期日を固定していませんが、九月頃までに決まる予定です。

連絡先 093-561-1203 / 080-3998-6323 (多文化共生センター北九州)

The English Mass in Kitakyushu

In Kitakyushu area, the English Mass will be done in Kurosaki, Kokura, and Yukuhashi.

- At 3:00 o'clock PM, 2nd Sunday of the month at the Kurosaki Catholic Church
- (Not fixed at the Kokura Catholic Church and the Yukuhashi Catholic Church, but will be fixed until September)

A lot of people's participation is welcome.

Q & A コーナー

Q. 教会の教勢(統計)を見る
と、毎年主日のミサ参加者が減っているようです。原因はどこにあると思われますか。

A. 教会にも課題が多く、悩みも尽きないような気がしますが、その中でも、主日のミサ参加者が減っているのは大きな悩みの一つです。

原因はいろいろあると思います。社会情勢が変わってきたこと。忙しくなったこと。大人は仕事で、子どもは塾やスポーツクラブで教会に行く時間がとれないこと。価値観が大きく変わったこともその原因のひとつかも知れません。つまり、ミサの大切さがわからなくなっていること。それには、さらに原因があるでしょう。無味乾燥な典礼。習慣的、形だけのミサになっているのかも知れません。み言葉とご聖体の素晴らしさが実感できていることもその理由でしょう。

あるたちは、ミサ参加者加するのか、または参加しないのかも考えてみたいものです。

ミサにあづからないと気になります。気持ちが悪い、と感じている人たちもいます。

ひょっとして、ある人たちは、主日のミサ参加者が減っていることに、べつに悩んでないのかも知れません。

ミサに行かなくて痛くもかゆくもない。べつに行かなくても誰もうるさくいわない。ミサに参加しても生活はサに行かないと地獄に行く」とまで言われていたことを思ふればならない。

しかし、多くの信者はその義務感からだけミサに来ていたのではないでしょうか。「ミサに行かないと地獄に行く」とまで言っていたことを思ふればならない。

べつにミサに行かなくても痛くもかゆくもない。べつに行かなくても誰もうるさくいわない。ミサに参加しても生活はサに行かないといいことになつたのではないでしようか。

しかし、多くの信者はその義務感からだけミサに来ていたのではないでしょうか。「ミサに行かないと地獄に行く」とまで言っていたことを思ふればならない。



日祭紹介コーナー

小倉教会 協力司祭 ピーター・チャネル神父

1970年7月生まれ 40歳
ベトナム・バリア州出身

『司祭談』 那覇教区の押川司教様のご配慮のもとで、フィリピンのマニラを中心に司祭になるための最終的な勉強と修練を終えて2005年9月3日に司祭叙階のお恵みを頂きました。

2007年9月27日に日本にやってきました。一年目は那覇で日本語の勉強をし、二年目は石垣教会に主任司祭として赴任しました。そして三年目になる今年5月7日に北九州の小倉教会に協力司祭として赴任しました。小倉教会では信徒の皆さんと共に、神に仕え、み言葉の勉強もできることをとても嬉しく思います。

私はスポーツも大好きですが、小倉教会に来てさっそく卓球チームが生まれました。健康のためだけでなく、心の分かち合いもできる、とても嬉しいです。

私の任期は一年ですが、その間に皆さんと親しくなって、少しでも一緒に楽しく過ごせることを期待しています。北九州の皆さん、どうぞ、末永いお付き合いをよろしくお願ひします。

『信徒談』 小倉教会の信徒達は、今年5月から新しくピーター神父を迎えて喜んでいます。ピーター神父は来日三年目ですので、日本語は上達途上ですが、日常の会話、作文、聖書と典礼の説解や朗読、ミサの時の説教などをみごとにこなしています。

また神父は理系(工学)の出身で、神学博士ですので、その豊かな才に期待しているところです。

これからは、皆さんとの多くの交流をおして生きた日本語を身につけ、奉仕に努めたいと望んでいますので、皆さんも小倉教会へお越しの際は声を掛けてあげてください。なお、神父は卓球が得意ですので、お相手を望まれたら歓迎まちがいないですよ。

い出します。その恐れや恐怖しまつているのです。

先日、わたしの同級生の一人は「ごはんも食べんと生きていけんじやん」と言い切りました。だれのおかげで生きているのかも、真剣に考えてみたいのです。

もつとミサが、教会での人と人の関わりが生き生きとしたものになれば喜んでミサに参加する人が増えると思うのですが…。

(小倉教会・山元眞神父)

正義と救いの意味 (2)

黒崎教会 濑下

マイケル・シーゲル師(南山大学教授)が語る

前号は「聖書が指す正義の意味」と、正義を正しく理解すれば「正義と平和は切り離せない」ということでした。今回は「正義と平和は信仰の面から必要」との講話です。

3 キリスト教は人間という存在をどうみているか

旧約聖書の創造物語を読むと、キリスト教は人間の存在をどうみているかが見えてきます。人間に限らず宇宙万物が創造された時、神はそれをよしとされた。人間を創造された時も、はなはだよかつたと書いてあります。人間は神の似姿に創造されていますから、尊いものである、人間は根本的に良いものということです。性善説、性悪説という言葉がありますが、その点に関してキリスト教はニユートン

もう一つ大切なこと。人間はひとりでいるのはよくないで「人間つてこういうものだよ」と発言するのは、実はここで「人間つて性質上、

はひとりでいるのはよくないで「人間つてこういうものだよ」と、神は言います。聖書の中

と、神は言います。聖書の中で「人間つてこういうものだよ」と発言するのは、実はこ

こだけです。すごく重要な

と思います。人間つて性質上、

他の人間とつながりを持つも

のである、だからつながりを

つくるという権利が人間に有

ります。難民の人間とつながりを

持つとか、家族がバラバラに

なっているときにつながりを

保つとか、難民に対する援助

の重要な部分になります。では救いつて何なのか。パウロの手紙が一番いい表現です。エフェソ1章9～10節、コロサイ人への手紙1章19～20節、「天にあるもの、地にあるもの、すべてのものの和解」ですから、私たちの立場はなく、永遠の価値基準に基づき人間的、社会的な事柄にからみれば「神との和解、他の人間との和解、自然との和解」全部含まれます。自然の美しさを見て感動するとき、ある意味で、それだけで救いにあずかっています。自然を破壊しない生活を取り戻します。私も救いにあずかっています。私たちがこの世の中で他の人のためにつながり、神とのつながりを創る時、既にこの世の救いにあずかっています。来世での救いは、この世におけるよい行いに対して報われるのではなく、この世で私たちが築いた愛の関係が完成したものがになるということです。「私はこの人を愛するから、死んでも、私もこの人も永遠に生きる関係が続くと信じれば、この関係が本当の精神です。来世を信じたがゆえ、この世のことを軽視したことがたくさんありましたが、それはキリスト教の正しい理解ではありません。来世を信じるから、この世のことを重視することが本当です。その重視する価値基準は、この世的な名譽ではなく、永遠の価値基準に基づく人間的、社会的な事柄にあります。この世のことを重視すること

7月11日は「船員の日」でした。

私たちが住んでいる北九州地域にはたくさんの国際港があるのを意識しています。若松港から苅田港まで沿岸のほとんどが国際港です。そ

して、新日本海をはじめとする大企業は自前の岸壁を持つています。

数年前に、

レヌー神父の船員司牧の話を掲載しましたの

で、この活動についてお

は覚えてお

られるかと思

いますが、今年10月に北九州港で行

うことになります。

期日については

10月中旬で準備を

すすめていますが、研修会を計画して

中央協議会ではAOSの活動の大

切なことを多くの

AOSの活動の大切なことを多くの人たちに知つてもらうために各地で研修会を計画しています。

AOSはカトリック教会に属する世界的な組織で、世界各国の港で船員たちを訪問し、福利厚生や心のケアを目的として奉仕活動をしています。



また各地から活動をしている人たちが来ますので、お手伝いをお願いすることになるかも知れません。その時はご協力をお願いします。

2010年7月14日

北九州地区信徒協だより

ニュースあれこれ

フィリピン人協会を作ります

三月からフィリピン人の協会を作っています。みんなが自分の友達と連絡を取りあって、友達の輪で参加者を募っています。

北九州地域には五百名くらいのフィリピン人が居住しています。この協会に参加してもらう目標は百名以上です。外国人の人たちは友だち同志の輪でかなりのネットワークを持つていますが、正式な組織がないことで領事館も個人単位でしか相手にしてくれません。

皆さん周りにフィリピン人がおられましたら、英語のページを見せてください。

小倉教会・カトリック新聞を読む会

小倉教会では毎月第四火曜日の午前10時から12時にカトリック新聞を読む集いをしています。

6月13日に日本カトリック医師会へ参加しませんか



そんな中、この集いによつて教会情報を福音宣教に少しでも生かせねばというのが、まだカトリック新聞を購読していない方でも結構です。

この集いがどんなものなのか、一度参加してみませんか。

日々の診療で忙しい毎日を思いますが、北九州地区のため医師の皆様のお力をお貸しください。現在医学を学んでいる学生さんも大歓迎です。

まずは名簿を完成したいと思いますので、医師の皆様、学生さんのご連絡をお待ちしております。

医師会北九州支部の会合を開きました。山元神父、ピーターニー神父も含めてわずか9名の集まりでした。予定した方の門司教会

桑野貴巳子

6月13日に日本カトリック医師会へ参加しませんか

6月13日に日本カトリック医師会へ参加しませんか

6月13日に日本カトリック医師会へ参加しませんか